



8月オレンジ第2保育園だより

令和2年8月3日発行



夏、真っ盛り、酷暑と言っているいいですね。保護者の皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか？先月の個人面談には時間を作っていただき色々お話が出来ました。

ご協力に感謝いたします。

園生活も落ち着き、担任やクラスの子もたちとの関係も深まり、いい時期を迎える8月です。そして、真夏になると新しいことがいくつか増えます。そのひとつが水遊びさらにどろんこ遊びと、夏しか学べない体験をします。顔に水がかかる事をこわがり挑戦したり、どろんこでいっぱい汚れ、快と不快の感覚を味わったり、科学的に物の性質堅い柔らかい・色の変化などで感動したりして学んでいきます。

8月の月間の活動は、どろんこ等で服が汚れます。汚れてもいい服を用意してあげてください。そして、子どもたちが成功体験を重ねながら、失敗をくりかえし成功することを学んで成長します。その姿を見守っていただきたいと思ひます。

お知らせ

コロナウイルス感染症が広がりましたので、嘱託医と相談の上
内科・歯科検診は状況を見て実施します



8月の行事

- 4日(火) 内科検診延期となります
- 7日(金) 歯科検診延期となります
- 10日(月) 山の日で休園
- 19日(水) 避難訓練
- 20日(木) お弁当の日

うみ組・かぜ組みんみんの森へ予定

15日(第3土) 午後家庭保育願ひ

※9月のお弁当の日

9月2日(水)

旧盆・ウーケイの日に変更になります。



退職した先生が戻ります

昨年度、そら組さんの担任として勤務していた、保育士玉城亜沙美が8月から戻ります。今度は、1階フロアのフリーとして勤務しますのでよろしく願ひします。それに伴い、1階フリーとして配置されていた玉城綾乃先生がほし組の担任となり、ほし組は9月以降新入園児3名の入園が予定され6名となります。どうぞよろしく願ひします

お願ひ

保護者の皆様から、時々お志として、お菓子の差し入れや、子どもたちへのプレゼントがありますが、園では色々な事情があり、お断りしております。ご理解を頂き、感謝の気持ちはお言葉で充分です。

失敗やケガから学ぶ子どもの成長について

子どもは毎日、新しいことが出来るようになっていきます。新しい事に挑戦しようとする気持ちが育ち、張り切ってトライします。

その中で失敗もします、怪我もします。友達とぶつかった！転んで床に歯を打った。しかし失敗から学び、悔しさを学び・怪我から痛さやコツを学び、成長に必要な失敗や怪我をたくさん経験し通り抜けながら成長します。

しかし、保育園は子どもの命を預かっている仕事なので、保育の安全は常に認識をしており、「暴力や危害を加えて起こる命に関わる事は社会的責任として問われる事は当然です。保育の中で防げる事故と、防げない事故があります。「子どもの命を守る」ことは私たちの使命です。そして、子どもが保育の中で育ち合っていくことを支えるのも保育士の仕事です。

しかし、誰も故意にケガを「させてしまう」人はいません。いつの間にか保育士が責任を感じるあまり、「ケガをさせてしまって申し訳ございません」という言葉が使われますが、お互いに子どもの育ちを理解し合っていく子どもは「ケガ」をして育っていくものという認識をしながら、育児にゆとりを持ちたいものです。

新型コロナウイルス緊急事態宣言 家庭保育協力

沖縄の感染者数の比率が全国第1位となり、病院に入れない自宅待機者が140人以上という目を見張る程の恐怖を感じています。いま、私たち一人一人が危機感を持って「コロナはいつ移ってもおかしくない」また、「誰かに移してしまう」という双方の側にあることを常に意識して行動する必要があります。犯人捜しをしているといつの間にか自分が犯人になりかねません。

保育園という、小さな子供たちが集団で生活する場においては、3つの密を完全に回避することは大変困難なことです。出来るだけの対策を講じています。換気の徹底、玩具の消毒、室内清掃と消毒・登園時の熱を測り、子どもの顔色を観察し、保育園で出来る感染対策は徹底しているつもりですが、外部の濃厚接触者を把握することが出来ず、感染リスクが一番高いところだと認識しています。一人でも感染者が出たら、即閉園となります。そのような状況の中で保育を進めていることをご理解の上、各自でご判断していただき、危機感を持って家庭保育が出来る方は適切にお休みをするなど、自己責任に於いて感染を回避するリスクを避けて下さい。



小児救急電話相談#8000をご存知ですか？

小さなお子さんをお持ちの保護者の方が休日・夜間の子どもの急な病気にどう対応したらよいのか病院の診療を受けたほうが良いのか判断に迷った時に、短縮番号#8000をプッシュすると看護師や医師がお子さんの症状に合った適切なアドバイスをしてくれます。

夏の日ざしに注意

紫外線の浴びすぎはよくありません。夏の外出時には、必ず紫外線対策をして出かけましょう。

紫外線を防ぐ4つのポイント

- 1 日ざしの強い朝10時から14時までの外あそびは避ける
- 2 つばの広い帽子をかぶる
- 3 日焼け止めを塗る
- 4 長時間、日なたにいない。外出するときは、日陰で休憩する

※紫外線が増えるのは5月から。また、9月まではしっかり対策をとりましょう！

コロナに負けるな！

